

事業の中間ご報告

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



代表執行役社長 小林 総

ごあいさつ

皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨今の度重なる大雨および台風により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。

ここに第78期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日）における当社および当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

当中間期は、米中の貿易協議を巡る対立から非常に不安定なマーケット環境となり、当社におきましても厳しい半年となりました。

このような環境下におきましても、当社は連結純資産配当率2%程度を基準とした配当を実施するとともに、本年2月から6月にかけて150万株の自己株式の取得を行いました。また、6月には消却前発行済株式総数の4.5%

となる200万株の自己株式の消却も実施するなど、様々な形の株主還元策を進めました。今後も引き続き株主の皆様への利益還元に努めて参ります。

近年、日本の証券会社を始めとする金融界におきましては、お客様本位の業務運営がより一層強く求められてきております。当社はかねてより、「コンプライアンスは競争力の源泉」という理念に基づきお客様との信頼関係を優先してサービスを提供することを心がけて参りました。このお客様本位の理念をさらに深め、お客様の満足度をより高めることのできるサービスをご提供するとともに、お客様に引き続き安心して末永くお取引いただけますよう、預り資産の拡大とコストの効率化による安定収益基盤の構築に努めて参りたいと思います。

今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第2四半期連結決算のご報告

営業収益

94億39百万円
(前年同期比 81.5%)

経常利益

△4億01百万円
(前年同期比 —)

四半期純利益

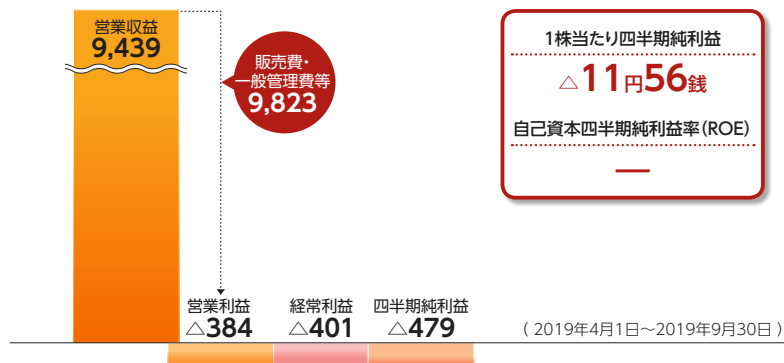
△4億79百万円
(前年同期比 —)

中間配当について

中間配当

1株当たり16円

第2四半期連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



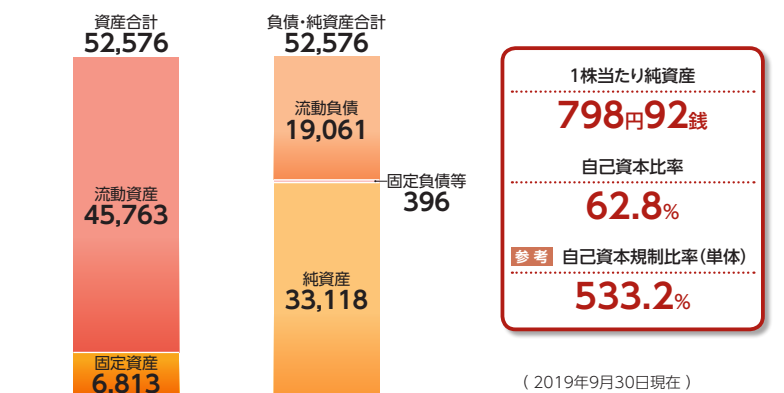
1株当たり四半期純利益

△11円56銭

自己資本四半期純利益率(ROE)

—

第2四半期連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



1株当たり純資産

798円92銭

自己資本比率

62.8%

参考 自己資本規制比率(単体)

533.2%

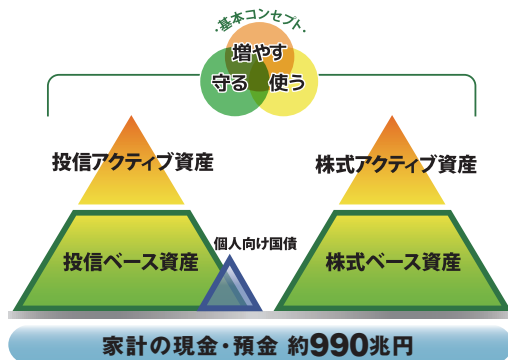
配当に関する基本方針

連結ベースでの配当性向(50%程度)と純資産配当率(DOE2%程度)を配当基準とし、半期毎に算出された金額について、いずれか高いものを採用して配当金を決定しております。

当第2四半期の剰余金の配当方針は連結純資産配当率(DOE2%程度)を採用させていただきました。

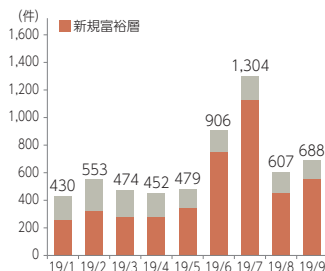
■「守る・増やす・使う」を基本コンセプトとしたご提案

当社では、顧客層の中心となる個人富裕層のお客様に対して、「守る・増やす・使う」を基本コンセプトとしたご提案を行っております。わが国の個人金融資産のうち、現金・預金の約990兆円をターゲットとして「貯蓄から資産形成へ」の流れを切り拓くべく、お客様の金融資産のうち、マーケット環境の変化から「守る資産」として「ベース資産」、「増やす資産」を「アクティブ資産」として位置づけ、それぞれのお客様のニーズに合わせたご提案を行っております。



特に、当中間期は新規の個人富裕層のお客様への資産運用アドバイスを強化いたしました。ファンドラップ「ドリコレ」や債券等を投資対象とする安定的な投資信託を中心に「守る資産」としてご提案させていただき、順調にお取引が増加しております。

■ 新規口座開設数の推移



今後とも、お客様ニーズに基づいた商品提案を心がけ、お客様本位での預り資産の拡大を図って参ります。

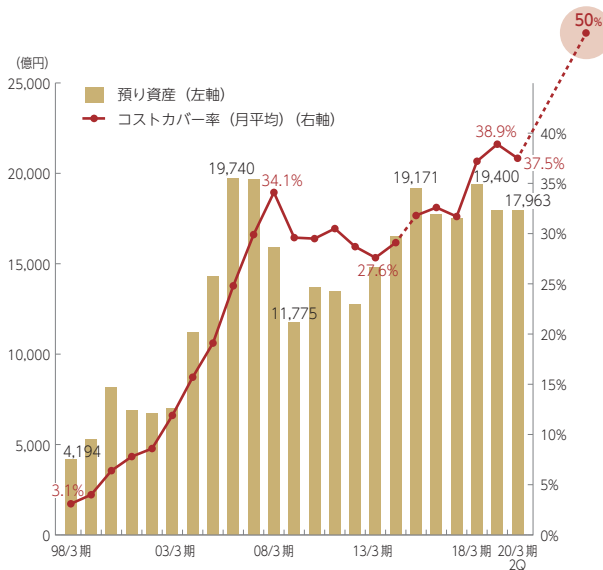
■「コストカバー率」50%を目指して

当社におきましては、投資信託の信託報酬やファンドラップのフィーなどの安定収益の販管費全体に対する比率である「コストカバー率」を重要な経営指標の一つとしております。

当社の「コストカバー率」はすでに対面証券会社の中では業界トップクラスとなっておりますが、お客様に引き続き安心して末永くお取引いただけますよう、いちよし経済研究所のリサーチ力、いちよしアセットマネジメントの運用力、当社のアドバイス力という、当社グループの強みを最大限に生かし、目先の商品戦略に頼らない、相場環境に左右されにくい安定的な収益構造を構築して参ります。

$$\text{コストカバー率} = \frac{\text{信託報酬} + \text{ラップフィー}}{\text{コスト(販売費・一般管理費)}} \times 100(\%)$$

■ 預り資産とコストカバー率の推移



※コストカバー率は、15/3期より連結にて算出

会社情報

会社概要

(2019年9月末現在)

会社名	いちよし証券株式会社(証券コード:8624) Ichiyoshi Securities Co., Ltd.
創立	1950年8月18日
本社所在地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号 東京証券会館
代表者	取締役(兼)代表執行役社長 小林 稔
電話	03-4346-4500(代表)
資本金	145億77百万円
純資産	331億18百万円
自己資本比率	62.8%
自己資本規制比率	533.2% (単体)
従業員数	1,104名
営業拠点数	49カ店

株式事務のご案内

事業年度	4月1日~翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場金融商品 取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.ichiyoshi.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)

いちよし証券の 提供番組ご案内

「暦に集う」
毎週日曜よる8時54分~
あなたのハートに
ABS朝日 5



語り/三田寛子 企画協力/CFA 制作/BS朝日 テレコムスタッフ

本社を東京証券会館に移転しました

当社は近年の業容の拡大と今後の進展のため、本年9月2日に本社を東京都中央区日本橋茅場町の東京証券会館に移転しました。今後もお客様に安心してお取引いただけるよう努めて参ります。



見やすく読みましがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用して印刷
しています。